

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年5月19日
【四半期会計期間】	第23期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	株式会社ゲオ
【英訳名】	GEO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森原 哲也
【本店の所在の場所】	愛知県春日井市如意申町五丁目11番地の3
【電話番号】	0568 33 4388
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 久保田 貴之
【最寄りの連絡場所】	愛知県春日井市如意申町五丁目11番地の3
【電話番号】	0568 33 4388
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 久保田 貴之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の連結子会社である株式会社リテールコム（以下、「R T C」という）において、一部の取引先との間で不適切な取引が行われていた可能性が高いことが判明したことを受けて、平成23年3月24日に内部調査委員会（委員長：代表取締役社長 森原 哲也）を設置して、事実関係の調査を開始したところ、R T Cが数年間に及び多数回の循環取引に關係している疑い及び係る取引が連結業績に影響を与える可能性が判明したため、公正中立かつ独立した立場からの調査を確保すべく、同月28日に外部調査委員会（委員長：関口 智弘 弁護士）を設置し、本件調査を鋭意進めてまいりました。

外部調査委員会の調査の結果、当社及びR T Cは、平成20年12月頃から平成23年3月までの間に、当社グループに属しない第三者である取引先との間で循環取引等の不正な取引に関与し、架空売上や架空仕入の計上等の不適切な会計処理が行われていたことが明らかになりました。

当社は、判明した損失額を、年度別に適正に振り当てる作業を実施しましたが、その結果、過大に計上されていた売掛金、買掛金、棚卸資産、売上高及び売上原価の訂正等、過年度における連結財務諸表等の訂正が必要となりましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成23年2月10日に提出しました第23期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任監査法人トーマツにより、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

なお、四半期連結財務諸表の記載事項に係る訂正箇所についてはX B R Lの訂正も行ったため、併せて訂正後のX B R L形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出しております。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

第2【事業の状況】

1【販売の状況】

4【財政状態及び経営成績の分析】

（1）業績の状況

（2）キャッシュ・フローの状況

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

（1）【四半期連結貸借対照表】

（2）【四半期連結損益計算書】

【四半期連結損益計算書（累計期間）】

【四半期連結損益計算書（会計期間）】

（3）【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

【注記情報】

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

（セグメント情報）

（金融商品関係）

（1株当たり情報）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前) 2ページ

回次	第22期 第3四半期連結 累計期間	第23期 第3四半期連結 累計期間	第22期 第3四半期連結 会計期間	第23期 第3四半期連結 会計期間	第22期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	181,654	188,472	66,327	73,075	242,619
経常利益(百万円)	10,512	9,409	4,563	4,944	13,891
四半期(当期)純利益(百万円)	4,969	6,020	2,360	4,499	6,771
純資産額(百万円)	-	-	38,561	46,215	39,510
総資産額(百万円)	-	-	125,713	141,330	118,516
1株当たり純資産額(円)	-	-	68,284.65	80,068.06	71,512.78
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	9,289.21	11,259.88	4,412.28	8,421.48	12,658.66
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	9,278.48	11,232.68	4,398.22	8,404.14	12,637.42
自己資本比率(%)	-	-	29.1	30.2	32.3
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	21,186	14,896	-	-	22,226
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,659	7,750	-	-	9,879
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	8,917	2,246	-	-	10,927
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	25,841	24,550	19,650
従業員数(人)	-	-	2,958	3,191	2,963

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

(訂正後)

回次	第22期 第3四半期連結 累計期間	第23期 第3四半期連結 累計期間	第22期 第3四半期連結 会計期間	第23期 第3四半期連結 会計期間	第22期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	180,943	186,536	66,173	72,352	241,491
経常利益(百万円)	10,476	9,312	4,551	4,906	13,845
四半期(当期)純利益(百万円)	4,876	5,914	2,349	4,451	6,665
純資産額(百万円)	-	-	38,413	45,948	39,349
総資産額(百万円)	-	-	125,482	140,905	118,177
1株当たり純資産額(円)	-	-	68,008.48	79,567.71	71,212.07
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	9,115.95	11,061.19	4,392.54	8,331.85	12,460.87
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	9,105.41	11,034.47	4,378.53	8,314.70	12,439.97
自己資本比率(%)	-	-	29.0	30.1	32.2
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	21,185	14,896	-	-	22,226
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,659	7,750	-	-	9,879
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	8,917	2,246	-	-	10,927
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	25,840	24,550	19,650
従業員数(人)	-	-	2,958	3,191	2,963

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

第2【事業の状況】

1【販売の状況】

(訂正前) 4ページ

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円)

セグメントの名称	第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	前年同期比(%)
小売サービス事業	67,978	-
不動産事業	1,136	-
アミューズメント事業	3,164	-
その他	795	-
<合計>	73,075	-

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準指針第20号 平成20年3月21日)を適用し、セグメント区分を変更しております。変更の内容については、「第5 経理の状況 1.四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載しております。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円)

セグメントの名称	第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	前年同期比(%)
小売サービス事業	67,255	-
不動産事業	1,136	-
アミューズメント事業	3,164	-
その他	795	-
<合計>	72,352	-

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準指針第20号 平成20年3月21日)を適用し、セグメント区分を変更しております。変更の内容については、「第5 経理の状況 1.四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載しております。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)6ページ

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、為替における円高水準や消費支出の低迷が続く中、企業努力による業績回復が一部において見られるものの、エコカー補助金の終了やエコポイントの減少など、景気回復に向けては先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、上半期に引き続き積極的に出店を実施し、収益の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の成績は、売上高73,075百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益4,972百万円(前年同期比12.6%増)、経常利益4,944百万円(前年同期比8.4%増)、四半期純利益4,499百万円(前年同期比90.6%増)となりました。

以下は、平成22年12月31日現在の当社グループの店舗数の状況であります。()内は前期末比増減

	直営店	代理店	F C店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,107 (+86)	102 (+20)	140 (2)	1,349 (+104)
小売サービス店舗	1,055 (+76)	102 (+20)	140 (2)	1,297 (+94)
メディア商材取扱店舗	886 (+92)	102 (+20)	97 (5)	1,085 (+107)
リユース商材取扱店舗	453 (+160)		43 (+3)	496 (+163)
総合リサイクル店舗	118 (11)		37 (+2)	155 (9)
携帯電話販売店等	36 (5)			36 (5)
アミューズメント施設	52 (+10)			52 (+10)
ゲオディノス	20 (1)			20 (1)
ウェアハウス	12 (+12)			12 (+12)
フィットネス施設	13 (0)			13 (0)
複合カフェ・飲食店	7 (1)			7 (1)

従来、店舗数の状況につきましては、店舗名称毎にて店舗数をカウントしておりましたが、併設店舗や店舗内ショップにつきましては1店舗施設とし、その内訳として取扱商材サービス別の店舗施設数を表示しております。

(訂正後)

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、為替における円高水準や消費支出の低迷が続く中、企業努力による業績回復が一部において見られるものの、エコカー補助金の終了やエコポイントの減少など、景気回復に向けては先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、上半期に引き続き積極的に出店を実施し、収益の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の成績は、売上高72,352百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益4,934百万円(前年同期比12.0%増)、経常利益4,906百万円(前年同期比7.8%増)、四半期純利益4,451百万円(前年同期比89.4%増)となりました。

以下は、平成22年12月31日現在の当社グループの店舗数の状況であります。()内は前期末比増減

	直営店	代理店	F C店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,107 (+86)	102 (+20)	140 (2)	1,349 (+104)
小売サービス店舗	1,055 (+76)	102 (+20)	140 (2)	1,297 (+94)
メディア商材取扱店舗	886 (+92)	102 (+20)	97 (5)	1,085 (+107)
リユース商材取扱店舗	453 (+160)		43 (+3)	496 (+163)
総合リサイクル店舗	118 (11)		37 (+2)	155 (9)
携帯電話販売店等	36 (5)			36 (5)
アミューズメント施設	52 (+10)			52 (+10)
ゲオディノス	20 (1)			20 (1)
ウェアハウス	12 (+12)			12 (+12)
フィットネス施設	13 (0)			13 (0)
複合カフェ・飲食店	7 (1)			7 (1)

従来、店舗数の状況につきましては、店舗名称毎にて店舗数をカウントしておりましたが、併設店舗や店舗内ショップにつきましては1店舗施設とし、その内訳として取扱商材サービス別の店舗施設数を表示しております。

(訂正前) 6ページ

当第3四半期連結会計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

(百万円)

セグメントの名称		第3四半期連結会計期間		第3四半期連結累計期間	
		(百万円)	前年同期比	(百万円)	前年同期比
小売サービス事業	売上高	67,978	-	175,174	-
	営業利益	5,551	-	10,404	-
不動産事業	売上高	1,136	-	2,691	-
	営業利益	49	-	128	-
アミューズメント事業	売上高	3,164	-	8,448	-
	営業利益	53	-	19	-
その他	売上高	795	-	2,158	-
	営業利益	70	-	49	-

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用し、セグメント区分を変更しております。そのため、前年同四半期における事業の種類別セグメントと当四半期のセグメント情報の区分方法及び測定方法が異なり、前年同四半期との単純比較が不可能であるため記載しておりません。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

(百万円)

セグメントの名称		第3四半期連結会計期間		第3四半期連結累計期間	
		(百万円)	前年同期比	(百万円)	前年同期比
小売サービス事業	売上高	67,255	-	173,238	-
	営業利益	5,512	-	10,307	-
不動産事業	売上高	1,136	-	2,691	-
	営業利益	49	-	128	-
アミューズメント事業	売上高	3,164	-	8,448	-
	営業利益	53	-	19	-
その他	売上高	795	-	2,158	-
	営業利益	70	-	49	-

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用し、セグメント区分を変更しております。そのため、前年同四半期における事業の種類別セグメントと当四半期のセグメント情報の区分方法及び測定方法が異なり、前年同四半期との単純比較が不可能であるため記載しておりません。

(訂正前) 7ページ

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前第3四半期連結会計期間末に比べ1,290百万円減少し、24,550百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は10,128百万円(前年同四半期は7,259百万円の増加)となりました。

これは、レンタル用資産の取得による支出が4,017百万円ありましたが、税金等調整前当四半期純利益が4,589百万円とレンタル用資産減価償却費が3,326百万円、仕入債務の増加額8,119百万円ありましたが、これが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は3,286百万円(前年同四半期は794百万円の減少)となりました。

これは、有価証券の売却による収入が1,500百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が1,768百万円と有価証券の取得による支出が650百万円、貸付による支出が859百万円ありましたが、これが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は5,847百万円(前年同四半期は2,638百万円の減少)となりました。

これは、短期借入れによる収入が4,100百万円と長期借入れによる収入が1,500百万円ありましたが、短期借入金の返済による支出が5,984百万円と長期借入金の返済による支出が3,453百万円ありましたが、これが主な要因であります。

(訂正後)

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前第3四半期連結会計期間末に比べ1,289百万円減少し、24,550百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は10,128百万円(前年同四半期は7,258百万円の増加)となりました。

これは、レンタル用資産の取得による支出が4,017百万円ありましたが、税金等調整前当四半期純利益が4,542百万円とレンタル用資産減価償却費が3,326百万円、仕入債務の増加額8,223百万円ありましたが、これが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は3,286百万円(前年同四半期は794百万円の減少)となりました。

これは、有価証券の売却による収入が1,500百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が1,768百万円と有価証券の取得による支出が650百万円、貸付による支出が859百万円ありましたが、これが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は5,847百万円(前年同四半期は2,638百万円の減少)となりました。

これは、短期借入れによる収入が4,100百万円と長期借入れによる収入が1,500百万円ありましたが、短期借入金の返済による支出が5,984百万円と長期借入金の返済による支出が3,453百万円ありましたが、これが主な要因であります。

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前) 19ページ

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)20ページ

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,753	19,387
受取手形及び売掛金	9,014	6,760
商品	16,049	14,033
販売用不動産	2,787	2,156
仕掛販売用不動産	2,195	2,505
貯蔵品	316	220
その他	9,076	10,362
貸倒引当金	163	141
流動資産合計	59,792	54,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,216,011	1,210,792
その他(純額)	1,234,366	1,224,133
有形固定資産合計	50,378	34,925
無形固定資産		
のれん	4,738	3,968
その他	1,250	1,505
無形固定資産合計	5,988	5,473
投資その他の資産		
敷金及び保証金	216,424	213,431
その他	210,353	212,216
貸倒引当金	1,605	2,223
投資その他の資産合計	25,172	23,424
固定資産合計	81,538	63,824
資産合計	141,330	118,516
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,605	11,679
短期借入金	25,774	26,456
1年内返済予定の長期借入金	212,582	212,055
引当金	610	1,283
その他	212,282	214,610
流動負債合計	49,855	46,086
固定負債		
社債	23,371	22,673
長期借入金	230,622	224,432
引当金	473	278
資産除去債務	2,879	-
その他	7,913	5,534
固定負債合計	45,260	32,918
負債合計	95,115	79,005

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,595
資本剰余金	9,263	9,255
利益剰余金	28,950	24,427
自己株式	4,195	4,069
株主資本合計	<u>42,622</u>	<u>38,208</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	120	46
評価・換算差額等合計	<u>120</u>	<u>46</u>
新株予約権	200	155
少数株主持分	3,272	1,100
純資産合計	<u>46,215</u>	<u>39,510</u>
負債純資産合計	<u>141,330</u>	<u>118,516</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,753	19,387
受取手形及び売掛金	8,671	6,545
商品	16,012	14,005
販売用不動産	2,787	2,156
仕掛販売用不動産	2,195	2,505
貯蔵品	316	220
その他	9,140	10,369
貸倒引当金	272	244
流動資産合計	59,366	54,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,216,011	1,210,792
その他(純額)	1,234,366	1,224,133
有形固定資産合計	50,378	34,925
無形固定資産		
のれん	4,738	3,968
その他	1,250	1,505
無形固定資産合計	5,988	5,473
投資その他の資産		
敷金及び保証金	216,424	213,431
その他	210,353	212,216
貸倒引当金	1,605	2,223
投資その他の資産合計	25,172	23,424
固定資産合計	81,538	63,824
資産合計	140,905	118,177
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,440	11,500
短期借入金	25,774	26,456
1年内返済予定の長期借入金	212,582	212,055
引当金	610	1,283
その他	212,289	214,612
流動負債合計	49,696	45,909
固定負債		
社債	23,371	22,673
長期借入金	230,622	224,432
引当金	473	278
資産除去債務	2,879	-
その他	7,913	5,534
固定負債合計	45,260	32,918
負債合計	94,956	78,828

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,595
資本剰余金	9,263	9,255
利益剰余金	28,683	24,267
自己株式	4,195	4,069
株主資本合計	<u>42,355</u>	<u>38,047</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	120	46
評価・換算差額等合計	<u>120</u>	<u>46</u>
新株予約権	200	155
少数株主持分	3,272	1,100
純資産合計	<u>45,948</u>	<u>39,349</u>
負債純資産合計	<u>140,905</u>	<u>118,177</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【四半期連結損益計算書(累計期間)】

(訂正前) 22ページ

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	181,654	188,472
売上原価	111,737	111,783
売上総利益	69,916	76,688
販売費及び一般管理費	59,589	67,658
営業利益	10,327	9,030
営業外収益		
受取利息	80	108
負ののれん償却額	219	-
受取保険金	248	446
その他	570	894
営業外収益合計	1,119	1,448
営業外費用		
支払利息	640	647
その他	293	421
営業外費用合計	933	1,069
経常利益	10,512	9,409
特別利益		
貸倒引当金戻入額	122	-
店舗閉鎖損失引当金戻入額	38	-
負ののれん発生益	-	1,498
その他	21	260
特別利益合計	182	1,758
特別損失		
減損損失	1,068	510
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,312
その他	474	321
特別損失合計	1,542	2,143
税金等調整前四半期純利益	9,152	9,024
法人税、住民税及び事業税	3,461	1,997
法人税等調整額	701	1,068
法人税等合計	4,162	3,066
少数株主損益調整前四半期純利益	-	5,958
少数株主利益又は少数株主損失()	20	62
四半期純利益	4,969	6,020

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	180,943	186,536
売上原価	111,060	109,938
売上総利益	69,883	76,598
販売費及び一般管理費	59,592	67,665
営業利益	10,291	8,932
営業外収益		
受取利息	80	108
負ののれん償却額	219	-
受取保険金	248	446
その他	570	894
営業外収益合計	1,119	1,448
営業外費用		
支払利息	640	647
その他	293	421
営業外費用合計	933	1,069
経常利益	10,476	9,312
特別利益		
貸倒引当金戻入額	122	-
店舗閉鎖損失引当金戻入額	38	-
負ののれん発生益	-	1,498
その他	21	260
特別利益合計	182	1,758
特別損失		
減損損失	1,068	510
不正関連損失	57	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,312
その他	474	321
特別損失合計	1,600	2,155
税金等調整前四半期純利益	9,059	8,915
法人税、住民税及び事業税	3,461	1,997
法人税等調整額	700	1,065
法人税等合計	4,162	3,063
少数株主損益調整前四半期純利益	-	5,852
少数株主利益又は少数株主損失()	20	62
四半期純利益	4,876	5,914

【四半期連結損益計算書（会計期間）】

(訂正前) 23ページ

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	66,327	73,075
売上原価	41,931	44,747
売上総利益	24,395	28,327
販売費及び一般管理費	19,979	23,354
営業利益	4,416	4,972
営業外収益		
受取利息	30	33
負ののれん償却額	71	-
受取保険金	-	139
受取手数料	175	-
その他	181	92
営業外収益合計	457	264
営業外費用		
支払利息	215	216
その他	95	76
営業外費用合計	311	293
経常利益	4,563	4,944
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	21
店舗閉鎖損失引当金戻入額	25	10
その他	7	9
特別利益合計	32	40
特別損失		
固定資産除却損	-	104
投資有価証券評価損	59	-
減損損失	126	195
その他	52	95
特別損失合計	238	395
税金等調整前四半期純利益	4,356	4,589
法人税、住民税及び事業税	1,223	335
法人税等調整額	638	206
法人税等合計	1,861	129
少数株主損益調整前四半期純利益	-	4,460
少数株主利益又は少数株主損失()	134	38
四半期純利益	2,360	4,499

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	66,173	72,352
売上原価	41,785	44,063
売上総利益	24,388	28,289
販売費及び一般管理費	19,983	23,354
営業利益	4,404	4,934
営業外収益		
受取利息	30	33
負ののれん償却額	71	-
受取保険金	-	139
受取手数料	175	-
その他	181	92
営業外収益合計	457	264
営業外費用		
支払利息	215	216
その他	95	76
営業外費用合計	311	293
経常利益	4,551	4,906
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	21
店舗閉鎖損失引当金戻入額	25	10
その他	7	9
特別利益合計	32	40
特別損失		
固定資産除却損	-	104
投資有価証券評価損	59	-
減損損失	126	195
不正関連損失	0	9
その他	52	95
特別損失合計	239	404
税金等調整前四半期純利益	4,344	4,542
法人税、住民税及び事業税	1,223	335
法人税等調整額	637	206
法人税等合計	1,860	129
少数株主損益調整前四半期純利益	-	4,412
少数株主利益又は少数株主損失()	134	38
四半期純利益	2,349	4,451

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前) 24ページ

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,152	9,024
減価償却費	2,545	3,744
レンタル用資産減価償却費	10,970	9,589
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,312
減損損失	1,068	-
負ののれん発生益	-	1,498
賞与引当金の増減額(は減少)	413	417
受取利息及び受取配当金	101	131
支払利息	640	647
売上債権の増減額(は増加)	1,028	1,633
たな卸資産の増減額(は増加)	3,630	806
仕掛販売用不動産等の増減額(は増加)	2,543	-
レンタル用資産の取得による支出	9,734	10,076
仕入債務の増減額(は減少)	4,810	6,539
その他	1,081	1,485
小計	25,166	17,779
利息及び配当金の受取額	89	118
利息の支払額	626	684
法人税等の支払額	3,441	2,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,186	14,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,294	4,506
無形固定資産の取得による支出	262	335
有価証券の取得による支出	2,800	3,650
投資有価証券の取得による支出	728	-
有価証券の売却による収入	1,500	5,300
貸付による支出	-	1,514
子会社株式の取得による支出	181	2,366
その他	892	676
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,659	7,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	13,100	16,837
短期借入金の返済による支出	9,224	17,520
長期借入れによる収入	7,401	15,310
長期借入金の返済による支出	12,124	12,157
社債の発行による収入	1,183	794
社債の償還による支出	5,733	1,877
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2,160	2,024
配当金の支払額	1,326	1,492
その他	31	116
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,917	2,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	7,610	4,900
現金及び現金同等物の期首残高	18,208	19,650
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	22	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,841	24,550

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,059	8,915
減価償却費	2,545	3,744
レンタル用資産減価償却費	10,970	9,589
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,312
減損損失	1,068	-
負ののれん発生益	-	1,498
賞与引当金の増減額(は減少)	413	417
受取利息及び受取配当金	101	131
支払利息	640	647
売上債権の増減額(は増加)	1,041	1,505
たな卸資産の増減額(は増加)	3,711	796
仕掛販売用不動産等の増減額(は増加)	2,543	-
レンタル用資産の取得による支出	9,734	10,076
仕入債務の増減額(は減少)	4,772	6,553
その他	1,145	1,443
小計	25,165	17,779
利息及び配当金の受取額	89	118
利息の支払額	626	684
法人税等の支払額	3,441	2,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,185	14,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,294	4,506
無形固定資産の取得による支出	262	335
有価証券の取得による支出	2,800	3,650
投資有価証券の取得による支出	728	-
有価証券の売却による収入	1,500	5,300
貸付による支出	-	1,514
子会社株式の取得による支出	181	2,366
その他	892	676
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,659	7,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	13,100	16,837
短期借入金の返済による支出	9,224	17,520
長期借入れによる収入	7,401	15,310
長期借入金の返済による支出	12,124	12,157
社債の発行による収入	1,183	794
社債の償還による支出	5,733	1,877
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2,160	2,024
配当金の支払額	1,326	1,492
その他	31	116
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,917	2,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	7,609	4,900
現金及び現金同等物の期首残高	18,208	19,650
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	22	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,840	24,550

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前) 29ページ

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (百万円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) (百万円)
現金及び預金勘定 25,841	現金及び預金勘定 22,753
有価証券勘定 1,350	流動資産その他(預け金) 1,797
償還期間が3ヶ月を超える債券等 1,350	現金及び現金同等物 24,550
現金及び現金同等物 25,841	

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (百万円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) (百万円)
現金及び預金勘定 25,840	現金及び預金勘定 22,753
有価証券勘定 1,350	流動資産その他(預け金) 1,797
償還期間が3ヶ月を超える債券等 1,350	現金及び現金同等物 24,550
現金及び現金同等物 25,840	

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

(訂正前) 30ページ

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	メディア事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	アミューズメント事業 (百万円)	リユース事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	<u>57,069</u>	687	1,427	5,672	1,469	<u>66,327</u>	-	<u>66,327</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	19	-	0	5	12	38	(38)	-
計	<u>57,089</u>	687	1,427	5,677	1,482	<u>66,365</u>	(38)	<u>66,327</u>
営業利益又は営業損失()	<u>4,238</u>	43	5	429	98	<u>4,804</u>	(387)	<u>4,416</u>

(訂正後)

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	メディア事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	アミューズメント事業 (百万円)	リユース事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	<u>56,916</u>	687	1,427	5,672	1,469	<u>66,173</u>	-	<u>66,173</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	19	-	0	5	12	38	(38)	-
計	<u>56,936</u>	687	1,427	5,677	1,482	<u>66,211</u>	(38)	<u>66,173</u>
営業利益又は営業損失()	<u>4,226</u>	43	5	429	98	<u>4,792</u>	(387)	<u>4,404</u>

(訂正前) 30ページ

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	メディア事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	アミューズメント事業 (百万円)	リユース事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	<u>152,604</u>	5,500	4,347	14,576	4,625	<u>181,654</u>	-	<u>181,654</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	80	-	0	7	33	122	(122)	-
計	<u>152,684</u>	5,500	4,347	14,584	4,658	<u>181,776</u>	(122)	<u>181,654</u>
営業利益又は営業損失()	<u>11,351</u>	471	243	142	69	<u>11,792</u>	(1,464)	<u>10,327</u>

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	メディア事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	アミューズメント事業 (百万円)	リユース事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	<u>151,893</u>	5,500	4,347	14,576	4,625	<u>180,943</u>	-	<u>180,943</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	80	-	0	7	33	122	(122)	-
計	<u>151,974</u>	5,500	4,347	14,584	4,658	<u>181,065</u>	(122)	<u>180,943</u>
営業利益又は営業損失()	<u>11,315</u>	471	243	142	69	<u>11,755</u>	(1,464)	<u>10,291</u>

【セグメント情報】

(訂正前) 31ページ

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売サー ビス	不動産	アミュー ズメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	<u>175,174</u>	2,691	8,448	<u>186,314</u>	2,158	<u>188,472</u>	-	<u>188,472</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	-	0	24	51	76	76	-
計	<u>175,199</u>	2,691	8,448	<u>186,338</u>	2,210	<u>188,549</u>	76	<u>188,472</u>
セグメント利益又はセ グメント損失()	<u>10,404</u>	128	19	<u>10,514</u>	49	<u>10,563</u>	1,533	<u>9,030</u>

(訂正後)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売サー ビス	不動産	アミュー ズメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	<u>173,238</u>	2,691	8,448	<u>184,378</u>	2,158	<u>186,536</u>	-	<u>186,536</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	-	0	24	51	76	76	-
計	<u>173,263</u>	2,691	8,448	<u>184,403</u>	2,210	<u>186,613</u>	76	<u>186,536</u>
セグメント利益又はセ グメント損失()	<u>10,307</u>	128	19	<u>10,416</u>	49	<u>10,466</u>	1,533	<u>8,932</u>

(訂正前) 31ページ

当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売サー ビス	不動産	アミュー ズメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	<u>67,978</u>	1,136	3,164	<u>72,279</u>	795	<u>73,075</u>	-	<u>73,075</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	-	0	6	21	27	27	-
計	<u>67,984</u>	1,136	3,164	<u>72,285</u>	817	<u>73,103</u>	27	<u>73,075</u>
セグメント利益又はセ グメント損失()	<u>5,551</u>	49	53	<u>5,547</u>	70	<u>5,618</u>	645	<u>4,972</u>

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売サー ビス	不動産	アミュー ズメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	<u>67,255</u>	1,136	3,164	<u>71,556</u>	795	<u>72,352</u>	-	<u>72,352</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	-	0	6	21	27	27	-
計	<u>67,261</u>	1,136	3,164	<u>71,562</u>	817	<u>72,379</u>	27	<u>72,352</u>
セグメント利益又はセ グメント損失()	<u>5,512</u>	49	53	<u>5,508</u>	70	<u>5,579</u>	645	<u>4,934</u>

(金融商品関係)

(訂正前) 32ページ

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)

受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金が、企業団体の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

科目	四半期連結貸借対照表計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(1) 受取手形及び売掛金	9,014	9,014	-
(2) 支払手形及び買掛金	18,605	18,605	-

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 支払手形及び買掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)

受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金が、企業団体の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

科目	四半期連結貸借対照表計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(1) 受取手形及び売掛金	8,671	8,671	-
(2) 支払手形及び買掛金	18,440	18,440	-

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 支払手形及び買掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(1株当たり情報)
(訂正前) 34ページ

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>80,068.06</u> 円	1株当たり純資産額 <u>71,512.78</u> 円

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>79,567.71</u> 円	1株当たり純資産額 <u>71,212.07</u> 円

(訂正前) 34ページ

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>9,289.21</u> 円	1株当たり四半期純利益金額 <u>11,259.88</u> 円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 <u>9,278.48</u> 円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 <u>11,232.68</u> 円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	<u>4,969</u>	<u>6,020</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	<u>4,969</u>	<u>6,020</u>
期中平均株式数(株)	534,936	534,710
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円)	0	
(うち連結子会社の発行する潜在株式調整額)	(0)	
普通株式増加数(株)	598.90	1,294.85
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(訂正後)

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	9,111.95 円	1株当たり四半期純利益金額	11,061.19 円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	9,105.41 円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	11,034.47 円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	4,876	5,914
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	4,876	5,914
期中平均株式数(株)	534,936	534,710
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円)	0	
(うち連結子会社の発行する潜在株式調整額)	(0)	
普通株式増加数(株)	598.90	1,294.85
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(訂正前) 35ページ

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	4,412.28 円	1株当たり四半期純利益金額	8,421.48 円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	4,398.22 円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	8,404.14 円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	2,360	4,499
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,360	4,499
期中平均株式数(株)	534,936	534,248
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円)	1	
(うち連結子会社の発行する潜在株式調整額)	(1)	
普通株式増加数(株)	1,350.00	1,101.98
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(訂正後)

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	4,392.54 円	1株当たり四半期純利益金額	8,331.85 円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	4,378.53 円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	8,314.70 円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	2,349	4,451
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,349	4,451
期中平均株式数(株)	534,936	534,248
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円)	1	
(うち連結子会社の発行する潜在株式調整額)	(1)	
普通株式増加数(株)	1,350.00	1,101.98
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年5月19日

株式会社ゲオ
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 信勝 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 瀧 沢 宏 光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゲオの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゲオ及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年5月19日

株式会社ゲオ
取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 信勝 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 瀧沢 宏光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゲオの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゲオ及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

1. 四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。
2. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より資産除去債務に関する会計基準を適用している。
3. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より企業結合に関する会計基準等を適用している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。